

海の味力でT-1制覇！～国東のタコでも次産業化～

東部振興局 農山漁村振興部
安部 洋平

国東市国見町竹田津地区の漁業者グループ『知恵蔵（代表者 江本正二）』では、漁獲したタコを加工、販売まで行い所得の向上を図る6次産業化に取り組んでいます。当初はどのように調理・味付けをすれば消費者に美味しいと言ってもらえるのか頭を悩ませましたが、知恵を出し合いながら試行錯誤の末に完成させたのが看板商品の「たこの唐揚げ」です。漁獲したばかりの新鮮なタコを加工するため食感の柔らかさと深いうま味が特徴で、道の駅くみにみや催事等での販売のほか、ふるさと納税返礼品としても大変好評を得ています。



ジューシーなたこ唐揚げ

そこで知恵蔵は、満を持して9月10日に開催さ

れた第7回T-1グランプリに出場しました。T-1グランプリの「T」とは国東市を代表する海の幸であるタチウオ、タコ、タイのアルファベットの頭文字をとったもので、これらを使ったアイデア料理のチャンピオンを選出する人気のグルメイベントです。全15店舗の創意工夫を凝らした料理が並ぶなか、知恵蔵の「たこの唐揚げ」は食べた人の心をはっきりと掴み、見事に優勝することができました！

『知恵蔵』の活動が今後も益々発展するよう、新たな看板商品の開発や販路開拓等の支援を引き続き行って参ります。



T-1グランプリ優勝インタビュー！

「美緑（みいょく）の果物」キウイフルーツ 県域出荷体制整備完了！

東部振興局 生産流通部
小野 祥子

国東市にあるJAおおいたキウイフルーツ選果機の改修工事が、11月10日に完了しました。

3年前に貯蔵庫の改修を行い、今回で出荷体制の整備が完了し、今後はこれらの施設を利用して県域出荷が検討されています。



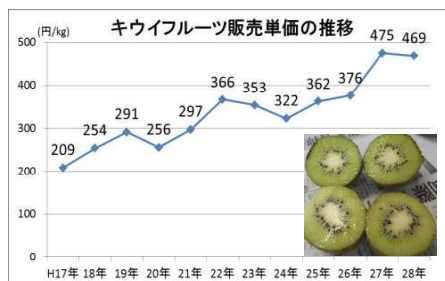
処理能力が向上した選果機

今年度、東部地域の国東市・杵築市・日出町では次なる園芸戦略品目振興プランが認定され、キウイフルーツが「戦略品目ネクスト」に位置づけられました。近年では健康志向の高まりにより需要も大きく伸び、単価も高く推移しています。

29年産の出荷量は生産者の適期管理により、

昨年に比べ約1.4倍に増大しました。また、JA部会員の新植・改植に加え、企業参入（2社）も始まっており、魅力の果物として注目されています。

今後は、各市町振興プランの目標達成に向けて、関係機関と力を合わせて産地の若返りや担い手の掘り起こしに取り組んでいきます。



単価が年々上昇中の魅力のキウイ

国東町のため池「大池」の改修工事に着手

東部振興局 農林基盤部
甲斐 和広

11月16日、国東市国東町にある大池の堤体工事の地鎮祭が、地元関係者ら約13名出席のもと開催されました。

国東町南部、上治郎丸地区に位置する大池は、築堤から約200年が経過し、老朽化、脆弱化が進行し、漏水も年々増加している状況でした。

貯水量も41,000 tと治郎丸区最大であり、大規模な地震や豪雨時に決壊した場合に、下流集落に甚大な被害を及ぼすことが予想されます。

そのため、地元から改修工事の要望があり振興局では、今年度より工事に着手し、平成31年度の完成を目指しています。

今回の改修により 23.6haの農地の農業用水の安定供給と、地域集落の人家34戸や、市道380m等の安全性が確保され、地域全体の安全・安心が確保されることとなります。

また、世界農業遺産に認定されたため池の連携システム（貴重な水を効率よく分配し、水不足の解消を図るとともに、集水域を拡大しより多くの雨水をため池に取り込むことで、水の安定供給を図る。）を維持することになります。



改修を待つ大池